

『ドアがしまっちゃうで』 3歳児 7月 神功こども園



穴を発見！



ドアがしまった・・・

エピソード

園庭の地面に穴を発見！

A児、B児、C児は、「なんだろう？」「アリさんのおうちや！」と、帽子のつばがぶつかるほど頭を近づけて覗き込んでいました。そして、おもむろに穴に砂を入れ始めたA児とB児。

すると、そこへ年長児が来て、「それはセミの家やで」と教えてくれました。それを聞いたC児は、心配そうな顔で「ドアがしまっちゃうで」と言いました。それを聞き、穴に砂を入れるC児の手の動きが一瞬止まりました。しかし、すぐにA児は「大丈夫、セミはこれがあるから出られるねん」と、背中に両手をつけて羽のようにして真剣な表情で言いました。

心配そうに見ていたC児は、A児の言葉を聞いて表情を変え、「そうやで、ビューンて出てこられるねん」と、自信あり気に保育者に言いました。B児も、「ビューン！」とA児の身振りの真似をしながら言いました。

子どもの育ちや学び

これはなんだ？
えーっと、アリさんが歩いてるからきっとそうだ！

不思議に思う

身近なものから想像してみる

穴がセミの家だから・・・
砂＝ドアだなあ

生活経験からイメージを膨らませた見立て

ドアがしまっちゃうよ
セミさん出られなくなっちゃう？

想像する
思いやる

セミにはこんなん（羽）があるから大丈夫

知っていることからの思いつき
自分なりの考えを体で表現する

そうか！ビューンてできるわ

納得、思いつき



家庭だったら・・・

普段、何気なく歩いている地面も、ふと目を向けるとポコッと穴があったり、アリやダンゴムシがトコトコ一生懸命に歩いていたり・・・
足もとには、大人が見逃してしまうような自然世界が広がっているようです。そんな世界に子どもたちは興味いっぱいです。
ぜひ一緒に覗いてみてくださいね♪

保育者の思い

- 穴を見つけるとついつい砂を入れたくなる姿！
⇒わかるなあ、やっぱり！と私も思わず共感してしまいました。
- 思いつくセミのイメージや身の回りのものにイメージを膨らませて見立てたり、自分たちなりに考えてみたりして、自信満々に話す姿。
⇒とても微笑ましく感じました。自分なりに考えたり、思いのままに話したりする姿を大切に受け止めていきたいと思っています。